

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月18日 (2010.2.18)

【公開番号】特開2008-164940(P2008-164940A)

【公開日】平成20年7月17日 (2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2006-354432(P2006-354432)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 7 2

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 15/01 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月28日 (2009.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像形成装置において、

回転体と、

前記回転体に駆動を伝達する駆動伝達部と、

前記回転体を回転駆動させる駆動部と、

前記回転体の速度を検出する検出手段と、

検出した速度データを基に駆動部の制御を行う制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記回転体の 1 回転する間の速度データに対して速度変動をキャンセルするよう一定の駆動速度指令値に加算するための補正值を算出し、前記一定の駆動速度指令値に前記補正值を加算した補正駆動指令値と、前記一定の駆動速度指令値との差分がなくなるよう前記補正值を修正することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記回転体は、感光ドラムまたは転写ベルトを駆動する駆動ローラであることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】

前記画像形成装置は、各色毎に前記感光ドラムを有する複数の画像形成部と、複数の色トナー像を重ね合わせる転写ベルトとからなるタンデム型画像形成装置であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記検出手段は、転写ベルトを搬送する駆動ローラの軸の角速度を検出する駆動ローラ角速度検出手段であることを特徴とする請求項 2 に画像形成装置。

【請求項 5】

前記検出手段は、感光ドラムを駆動する感光体駆動軸の角速度を検出する感光体駆動軸角速度検出手段であることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記検出手段で検出された速度データに対して移動平均演算を行う移動平均演算部を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

上述の目的を達成するために本発明は、画像形成装置において、回転体と、前記回転体に駆動を伝達する駆動伝達部と、前記回転体を回転駆動させる駆動部と、前記回転体の速度を検出する検出手段と、検出した速度データを基に駆動部の制御を行う制御手段とを備え、前記制御手段は、前記回転体の 1 回転する間の速度データに対して速度変動をキャンセルするよう一定の駆動速度指令値に加算するための補正值を算出し、前記一定の駆動速度指令値に前記補正值を加算した補正駆動指令値と、前記一定の駆動速度指令値との差分がなくなるよう前記補正值を修正することを特徴とする画像形成装置。